

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

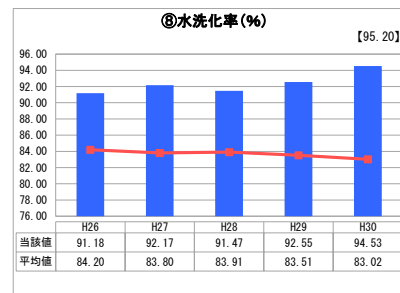
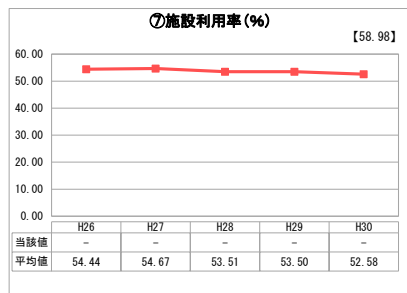
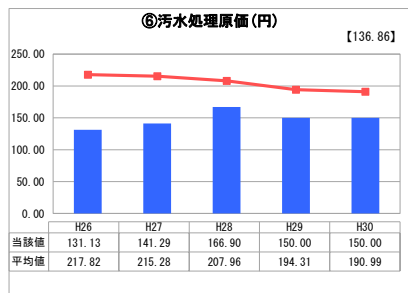
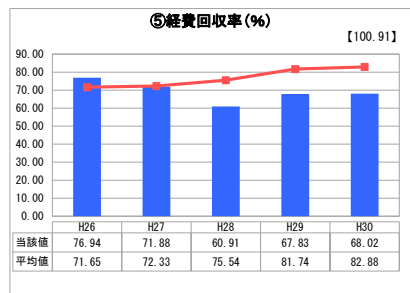
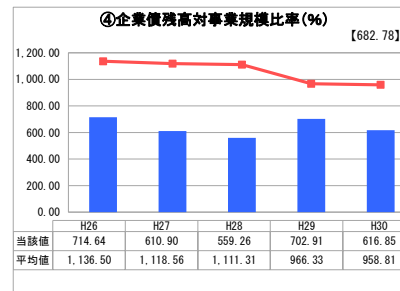
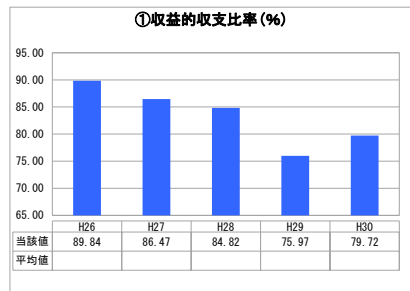
岐阜県 岐南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金 (円)
-	該当数値なし	94.31	100.00	1,884

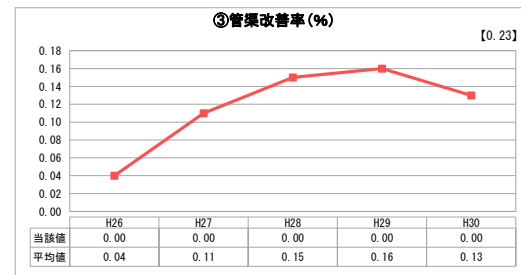
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
25,685	7.91	3,247.16
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
24,201	6.88	3,517.59

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率、経費回収率とも継続的に100%を下回っており、汚水処理経費が使用料収入以外の収入（一般会計からの繰入金）により賄われている状況が続いています。平成30年度はいずれもやや回復していますが、これは工事請負費の次年度繰越による総支出額の減少が主要因で一時的なものと考えられます。今後、収支比率を100%に近づけるためには、使用料収入をより確保する必要があると考えています。

企業債残高の事業規模比率は、類似団体の平均値より低くなっており、企業債残高は年々減少しています。また、水洗化率は住宅等の新築に伴う下水接続により増加傾向にあり、類似団体の平均値と比較して高い数値を維持し続けています。

### 2. 老朽化の状況について

当町は、昭和58年度から下水道整備を開始し、平成3年度に供用開始をしています。管路は比較的新しいため現状では管路の更新は必要ありませんが、不明水の対策として管路調査を計画的に実施し適宜補修対応しています。

また、マンホールポンプ場については管路に比べ耐用年数が短く、既に更新時期を迎えた施設もありますが、多額の更新費用を一度にすることが困難であるため、定期保守点検や部分改修を併用しながら、順次更新を実施しています。

### 全体総括

当町の下水道事業は、使用料収入以外の収入として一般会計からの繰入金の一部受け入れ運営しています。今後は人口減少社会の到来による収入減に加え、老朽化施設の更新需要は増加が見込まれるため、これを踏まえた料金体系の見直しや事業の効率化など経営健全化の努力が必要と考えています。まずは、経営成績や財政状況を的確に把握するため、地方公営企業法を令和2年度から適用できるよう移行準備を進めます。また、経営戦略を策定することで、計画的な下水道事業運営を進められるよう努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。